

菅了法（あき） 僧侶。安政四年一月七日在見國生れ、昭和十一年七月
二十一日歿（二五七一九三）。號桐南居士。慶應義塾に學ぶ。日文詢雜
誌に編輯等を経、イギリスに留學。歸國後後藤教一郎の大同團結運動
に参加。明治二十一年「政論」記者と筆禍に下獄。二十二年第一期衆
議院議員に當選、同年「東洋新報」創刊。うち僧籍を復し布教活動、
築地本願寺出張所所長、本願寺内務執行等と務めた。
著書「國民之友・第一集」（合著・明治二十年十一月上田捨吉（編）出版、
大阪・國友館）、「倫理學論」（明治二十一年六月、東京金港堂）、
「新佛敎演說集」（合著・佐々木慧雲編、明治二十二年一月、二十六年
京都・興敎書院）等。